

【設備脱炭素ご提案について】

①高効率空調機導入

- ・高 A P F 値機器の導入
(APF=1年に必要な冷暖房能力(kWh)÷機種毎の年間消費電力量 (kWh))
- ・既存機器、導入機器の消費電力量比較試算表作成
- ・導入後、1年を通し電力量の管理が可能

②L E D照明導入

- ・LED照明を改修する事で、約50%の省エネルギーを達成
- ・既存機器、導入機器の消費電力量比較試算表作成

③ハイブリッド給湯

- ・重油、蒸気、ガスをエネルギーとする給湯設備の撤廃
- ・電気でお湯を沸かすヒートポンプを導入する事により、給湯設備の低炭素化を実現

④換気機器の見直し

- ・全熱交換器導入による熱負荷の低減

⑤遮熱シート・遮熱塗料

- ・輻射熱から建物を守る為に輻射熱を99%カットする遮熱シート・塗料を施工
- ・部屋の温度を保つ事により空調負荷が30%~40%低減

⑥設備機器のオートメーション化

- ・空調機 集中管理リモコン導入による一括管理 (消し忘れ防止 温度管理等)
- ・局所、照明の人感センサー導入 (トイレ、洗面、廊下等)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標



SDGSの観点からの設備ご提案



- ・給水配管老朽化による取替（赤錆、漏水）・節水型便器導入による水使用の削減
- ・非接触機器導入による水使用の削減（自動水栓、自動洗浄）



- ・フロン排出抑制法に基づく定期点検の実施
（義務、圧縮機能力7.5 Kw以上の機器対象）
- ・フロン排出抑制法簡易点検（3カ月に1回）のアプリ化管理
- ・H C F C冷媒 R22、R410A オゾン層破壊、温室効果ガス問題により
新冷媒R32 機器への取替



- ・居室、換気機器、換気回数の見直し（2回/1h、30m³/1人）